

演題データ(音声付きPowePointの動画化)の 作成マニュアル 【Windows向け】

準備物

1. 下記いずれかのバージョンのPowerPointを搭載しているPC

PowerPoint 2013, 2016, 2019, Office365のいずれか

2. マイク(音声入力ができる環境)

内臓マイクでの録音も可能ですが、周囲の音声(ノイズ)も録音されてしまうため、ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。

事前チェック項目

✓	注意・チェック項目
①	発表スライドは「16:9」の画面サイズを推奨します(「4:3」でも可)。
②	作成された発表用データ(PowerPoint 又は Keynote)を動画に加工するコピーファイルを作成ください。動画に加工して登録するのはコピーファイルをご使用ください。
③	発表スライドは以下の構成で作成をお願いします。 1枚目 発表テーマ 2枚目 利益相反(COI)について 3枚目 氏名、所属、写真 4枚目以降 講演内容
④	ナレーション録音するにあたって、あらかじめパソコンとマイクまたはヘッドセットが接続した状態にしてください。 マイク装備のついているノートパソコンの場合は、内蔵のマイクでもかまいません。
⑤	マイクが装備されていないノートパソコンやデスクトップパソコンを使用する場合は、外付けのマイクをつなぎ、音声の録音をお願いします。
⑥	録音の際は極力、静かな環境で雑音が入らないようお願いします。
⑦	ページの切り替わり時、ナレーションの録音はされません。ページの切り替わりを確認して音声を録音してください。
⑧	非表示設定をしない限り、全てのスライドが動画に組み込まれます。 ご発表に使用されなかったスライドや動画に入れたくないスライドは、削除または非表示スライドに設定してください。
⑨	録音の前にPowerPoint を「スライド一覧」で表示し、スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。
⑩	動画の外部リンクは使用できません。動画を使用の場合は、スライドに挿入してください。
⑪	録音が終了した後に、必ずPowerPoint または、Keynote データ(音声付きスライド)の保存も行ってください。アップロードいただく動画形式はMP4ファイルのみです。

講演データの作成について

動画に入れるスライドの選択

動画に入れるスライドを選択します。

非表示設定をしない限り、すべてのスライドが動画に組み込まれています。

プレゼンで使用しないスライドや動画に入れたくないスライドは、非表示スライドに設定してください。

スライド準備 (1枚目:表紙)

発表テーマ

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

スライド準備 (2枚目:利益相反開示)

- ・本会での発表者(共同発表者含む)および座長全員には、利益相反の開示が義務づけられております。開示基準その他の詳細については、下記の一般社団法人日本糖尿病学会ホームページ「利益相反(COI)の指 針」をご参照いただき、本指針に則って、開示を行ってください。

<https://www.c-linkage.co.jp/jaden26/speakers.html>

- ・利益相反開示例(演者)

すべての発表(企業共催セミナー等も含む)の筆頭発表者は、発表者全員(共同発表者含む)について開示してください。

発表スライドの2枚目(タイトルスライドの後)に、以下のいずれかの様式を使用して提示してください。

開示用スライドのひな形は、上記URL(開示スライド例)よりダウンロードしてご使用ください。

【申告すべきCOI状態がない場合】



**日本糖尿病教育・看護学会
COI 開示**

発表者名: ◎研究代表者, 共同研究者 A, 共同研究者 B (全員の氏名)

演題発表に関連し、申告すべきCOI状態はありません。

【申告すべきCOI状態がある場合】



**日本糖尿病教育・看護学会
COI 開示**

発表者名: ◎研究代表者, 共同研究者 A, 共同研究者 B (全員の氏名)

演題発表に関連し、申告すべきCOI状態は、以下のとおりです。
X会社
Y会社

スライド準備 (3枚目: 氏名、所属、写真)



XXXX病院 XXXXXXXXX

XXXXXX

山田 太郎

Windows共通 マイクの確認方法

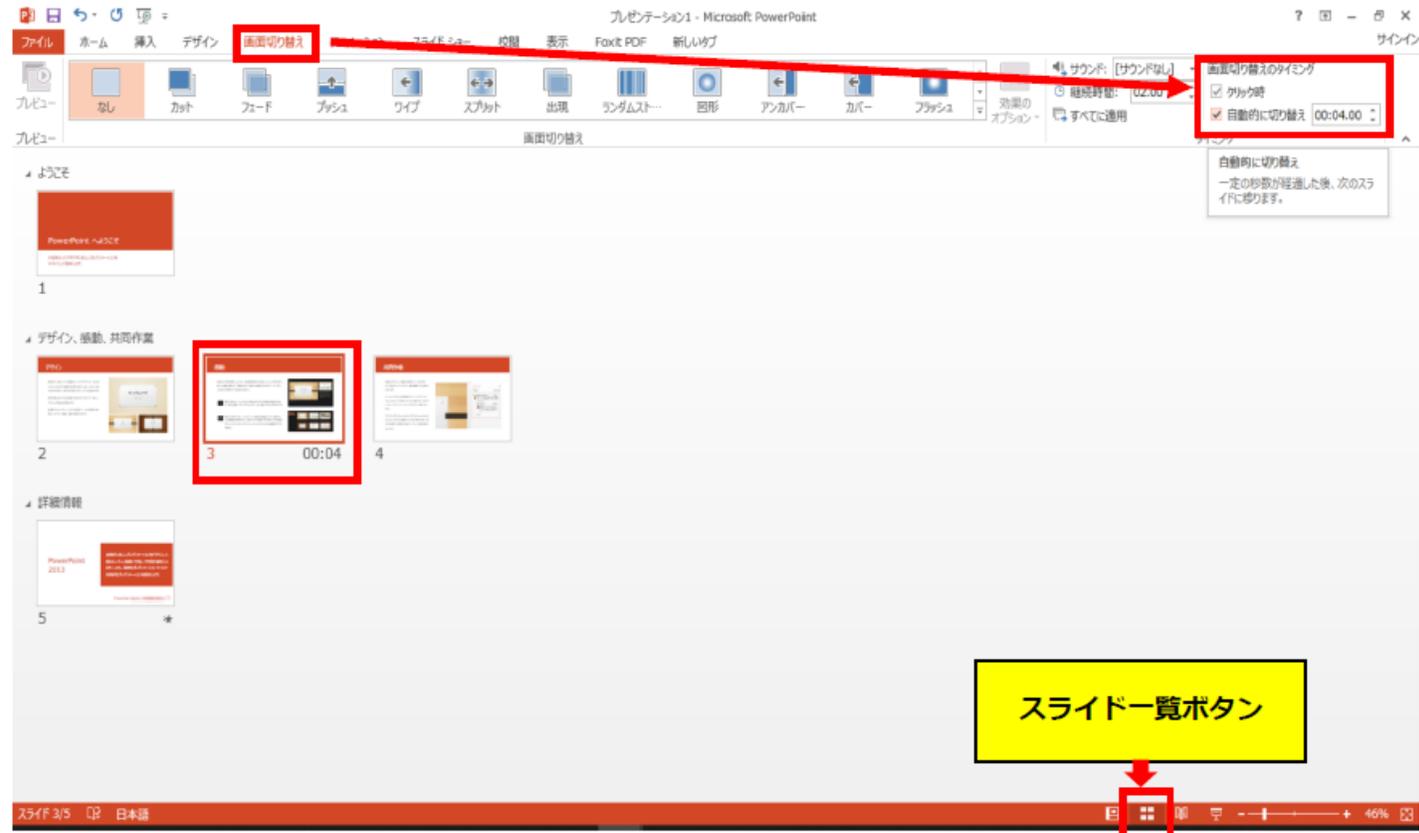
パワーポイント設定の確認

- ・録音の前にPowerPointを【スライド一覧】で表示し、スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。

秒数が入っている場合、

上部タブ【画面の切り替え】→【画面の切り替えのタイミング】→【自動的に切り替え】の☑を外してください。

※OS、バージョンによって異なりますので、ご注意ください。



マイクの確認方法

「スタート」→「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに発声し、反応することを確認します。

The image shows a sequence of four screenshots illustrating the steps to check the microphone in Windows. Red boxes and arrows highlight the navigation path, while blue boxes provide additional instructions.

- ① スタート**: The Windows Start button is highlighted with a red box.
- ② 設定**: The Settings app icon is highlighted with a red box.
- ③ システム**: The 'システム' (System) option is highlighted with a red box. A red arrow points from this box to the 'サウンド' (Sound) option in the next screenshot.
- ④ サウンド**: The 'サウンド' (Sound) option is highlighted with a red box. A blue callout box points to it with the text: **試しに発声し、「マイクのテスト」が反応すればマイクが機能している** (Try speaking, and if the 'Microphone Test' reacts, the microphone is functioning).

In the 'サウンド' (Sound) settings page, the following elements are highlighted:

- The '入力デバイスを選択してください' (Select an input device) dropdown menu is highlighted with a red box, showing 'マイク配列 (Synaptics Audio)' selected. A blue callout box points to it with the text: **プルダウンに表示があれば入力デバイスが登録されている** (If it appears in the dropdown, the input device is registered).
- The 'マイクのテスト' (Microphone Test) section is highlighted with a red box, showing a microphone icon and a volume slider.

演題データ(音声付きPowePointの動画化)の 作成マニュアル 【Windows向け】

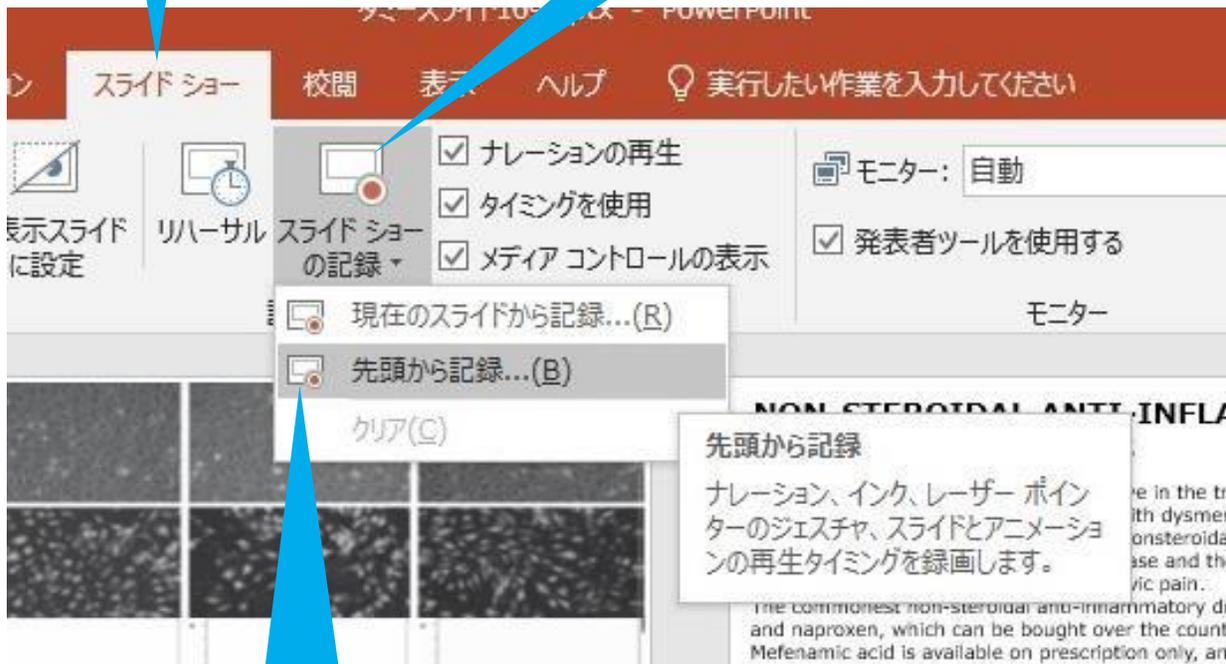
Windows

PowerPoint2019 ▪ Office365

①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック

⑤「記録の開始」をクリックして録音を開始する



③「先頭から記録」をクリック



④内臓カメラが有効な場合、子画面でカメラ映像も記録されてしまう為、カメラはOFFにしてください

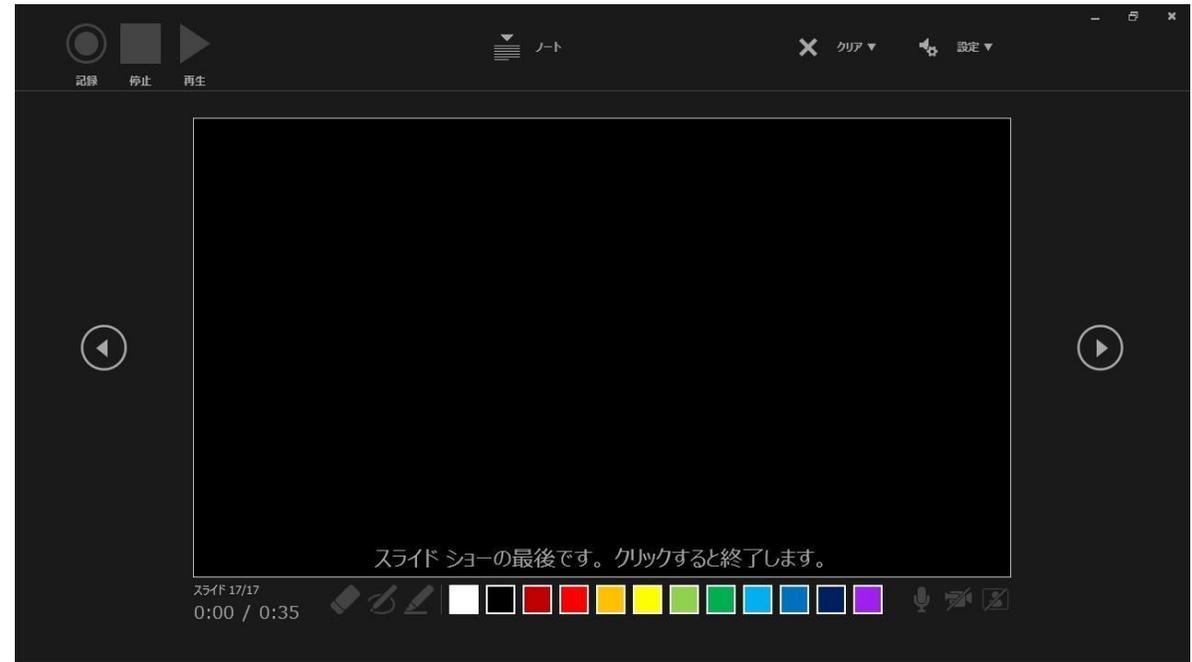
⑥ スライドを進めながらマイクに向かってナレーションを録音
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)

⑦ 下記画面まで進めると自動的に録音が停止し
スライドをもう1枚進めると編集画面に戻る



「記録の一時停止」をクリックすると
そこまでの記録が残る

「記録の一時停止」をクリックすると
記録が一時停止となる



矢印もしくはスライド上をクリックすると
次に進む

※最後のスライドで発表が終了した後、
10秒程度の間隔を開けてから録音を停止してください。



- ⑧スライドショーを最後まで進めて終了した後、「表示」タブ→「スライド一覧」を選択し、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認した上でPowerPointを保存する(新しく名前を付けて保存)

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認する
問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行う

⑨スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う 「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



ビデオ解像度は[1280×720]の選択を推奨
[1280×720]を選択出来ない場合には近似値のものを選択

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

※スライドサイズに関するご注意

「デザイン」タブから、スライドサイズを4:3→16:9に修正いただけると、ビデオ解像度[1280 × 720]を選択いただけるようになります。ただ、最初から16:9で作成されていればよろしいのですが、すでに4:3で作成されたものを16:9に修正いただけると、スライド内容にゆがみがでてくるようになります。

もしよろしければ、4:3のままでもかまいません。
(受講者が最大画面で閲覧した際、縦か横に黒い線が入りますが、それはかまいません)
先生のご無理のない方で、どうぞよろしくお願いいたします。

⑨スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う
「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。
ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択します。
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

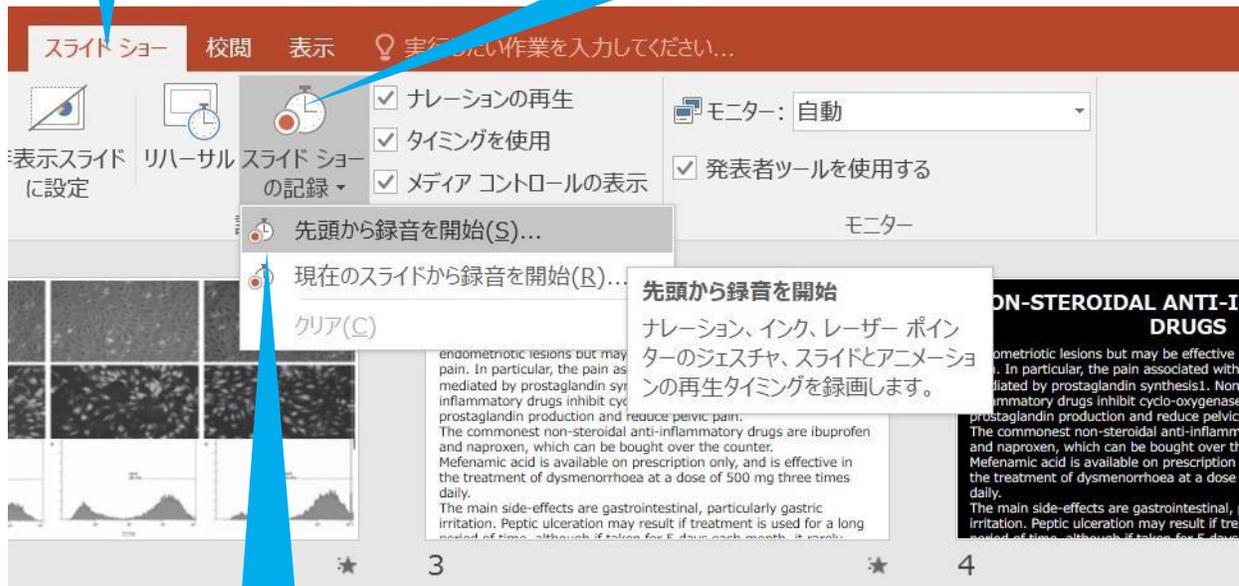
動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーからHD画質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。

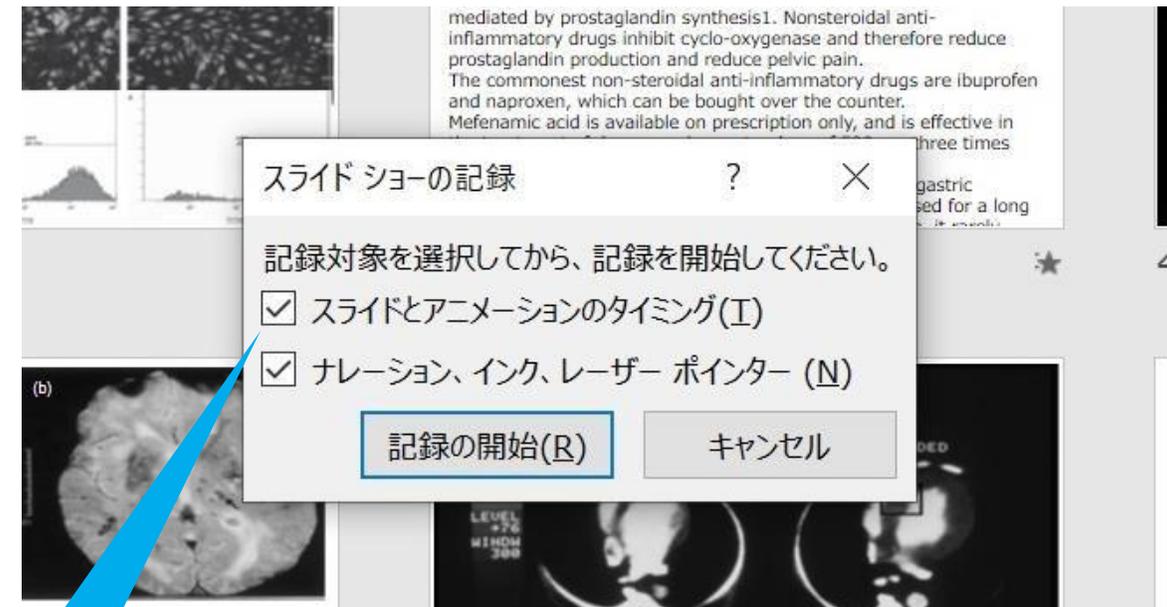
Windows PowerPoint2013·2016

①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック



③「先頭から録音を開始」をクリック



④「スライドとアニメーションのタイミング」、
「ナレーション、インク、レーザーポインター」の
両方にチェックが入っていることを確認し
「記録の開始」をクリックして録音を開始する

- ⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声が入り切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



- ※最後のスライドで発表が終了した後、
10秒程度の間隔を開けてから録音を停止してください。



- ⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に時間が表記されていることを確認出来たらPowerPointを保存する(新しく名前を付けて保存)

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認する
問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行う

⑦スライドを確認して問題なければ書き出しを行う
「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



ビデオ解像度は[1280×720]の選択を推奨
[1280×720]を選択出来ない場合には近似値のものを選択



「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

※スライドサイズに関するご注意

「デザイン」タブから、スライドサイズを4:3→16:9に修正いただけると、ビデオ解像度[1280 × 720]を選択いただけるようでございます。ただ、最初から16:9で作成されていればよろしいのですが、すでに4:3で作成されたものを16:9に修正いただけると、スライド内容にゆがみがでてくるようでございます。

もしよろしければ、4:3のままでもかまいません。
(受講者が最大画面で閲覧した際、縦か横に黒い線が入りますが、それはかまいません)
先生のご無理のない方で、どうぞよろしくお願いいたします。

⑦スライドを確認して問題なければ書き出しを行う
「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。
ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択します。
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。
※20分のスライドショーからHD画質(1280×720)の動画を作成するのに約20分かかります。

品質の選択、動画作成と保存

※スライドサイズに関するご注意

「デザイン」タブから、スライドサイズを4:3→16:9に修正いただくと、ビデオ解像度[1280 × 720]を選択いただけるようになります。

ただ、最初から16:9で作成されていればよろしいのですが、すでに4:3で作成されたものを16:9に修正いただくと、スライド内容にゆがみがでてくるようになります。

もしよろしければ、4:3のままでもかまいません。

(受講者が最大画面で閲覧した際、縦か横に黒い線が入りますが、それはかまいません)
先生のご無理のない方で、どうぞよろしくお願いいたします。